

MoodleWorkPlaceはMoodleの機能に企業向けの管理機能を拡張したLMSです。

【Moodle Workplaceの構造】

- ◆ 「Moodle Workplace」は、1つのサイトを仮想的に分割して複数の学習空間を提供する仕組みです。
分割された学習空間を「テナント」と呼びます。
運営管理者は「テナント」内で各種学習管理を行います。
- ◆ この分割は仮想的なものであり、システムの仕様や操作ミスによっては、テナント間の干渉やそれに伴う情報漏洩の可能性が生じます。
- ◆ 「MWPを安全にご利用頂くための注意事項」をご確認いただき、正しいMoodle Workplace運用をお願いいたします。

【Moodle Workplace運用の原則】

- ◆ テナント内の日常運用管理業務は、必ずテナント管理者アカウントでログインをして作業をしてください。
- ◆ 複数テナントを管理されている場合は、必ず対応するテナント管理者アカウントを使い分けてください。
- ◆ アカウントは必ず1つのテナントに属する必要がある、原則として属しているテナントにのみ関与することが可能です。
- ◆ アカウントが複数テナントに属することはできません。この原則に基づき、複数テナントをまたぐような運用はできません。

【2024年度版】MWPを安全にご利用頂くための注意事項

作成:2024年4月
改定:2024年9月3日
株式会社イーラーニング

MWPは、1つのサイトを仮想的に分割して複数の学習空間を提供する仕組みです。これらの分割された空間を「テナント」と呼びます。ただし、この分割は仮想的なものであり、システムの仕様や操作ミスによっては、テナント間の干渉やそれに伴う情報漏洩の可能性が生じます。この文書は、MWPを安全にご利用いただくための重要なガイドです。

1. 【全般】
 - 1.1. テナント内の日常運用管理業務(アカウント登録、コース作成、各種受講管理、レポート、プログラム、ダイナミックルール、認定、認定証の作成および管理)は必ずテナント管理者アカウントでログインをして作業をしてください。複数テナントを管理されている場合は、必ず対応するテナント管理者アカウントを使い分けてください。
 - 1.2. アカウントは必ず1つのテナントに属する必要がある、原則として属しているテナントにのみ関与することが可能です。アカウントが複数テナントに属することはできません。
 - 1.3. 1.2の原則に基づき、複数テナントをまたぐような運用はできません。
2. 【MWPサイト管理者アカウント】
ご契約サーバ全体に影響する操作を行う際の最上位権限を有するアカウントです。必ずSaaSご契約者様の責任の範囲内にて厳重に使用・管理をしてください。
 - 2.1. 【主な用途】
※原則として以下の用途以外には使用しないでください。(別途弊社からご利用のご案内をさせて頂いた場合を除く。)
・言語カスタマイゼーション
・一般公開プラグインのインストール
・Kenaiテーマ設定(kenaiご契約者様に限る)
 - 2.2. 【テナントを管理】について
サイト管理者アカウントでログインをすると、ご契約サーバ内のテナント管理画面が見えます。この画面は安全なテナントの稼働及びご契約内容に影響しますので、各種メニュー含め操作しないでください。※特にDefault tenantおよび「コースカテゴリ:Default tenant」は、特殊なテナントです。
 - 2.3. サイト登録
サイト管理者アカウントでログインをすると、「あなたのサイトを登録する」というボタンが出てきます。これは、Moodle HQが統計情報取得のためにサイト登録を促しているメッセージですが、お客様は操作しないでください。※受講生には表示されません。
3. 【テナント管理者アカウント】
SaaSご契約者様と同等の情報管理権限を有する方に貸与して下さい。
 - 3.1. アカウント登録項目は運用に必要最低限な情報のみとし、必要のない機密情報(個人情報)は入力しないでください。
 - 3.2. アカウント登録作業以外の設定項目には、機密情報(個人情報)は利用しないで下さい。
 - 3.3. 以下のレポートはMoodleLMSのサイト管理者向けに用意されたレポート形式です。サイト全体で有する各種管理情報をレポート化するものです。MWP内での利用は想定されており、いずれもテナント内の運用管理には不要なレポートのため利用しないで下さい。
===
コーホート
コメント
タグ
タスクログ
...

MoodleWorkPlaceはMoodleの機能に企業向けの管理機能を拡張したLMSです。

【Moodle Workplace固有機能】

▼組織構造(Organisation structure)

「組織構造」機能は、ユーザを「学習者」と「学習者の進捗を管理する側」という立場に分ける機能です。この立場分けを「ジョブ」と呼びます。組織構造で「ジョブ」を付与されるアカウントには「テナント管理者」や「トレーナ」「編集権限のないトレーナ」などの管理ロールが付与されていないことが前提です。

つまり、テナントやコースに関するなにかしらの権限を付与することなく、純粋に部下の進捗だけを開示するというコンセプトの機能です。

※組織構造の情報は「コース内」に関与させることはできません。

▼プログラム(Programs)

複数コースを順番どおりに受講させたい際に、プログラムという機能を用います。

複数コースをパッケージ化するイメージです。

順番どおりにコースを受講するようにコントロールできる為、受講生の学習経路を確立させることができます。

▼認定(Certifications)

「認定」機能とは、運転免許証更新のようなイメージです。

特定の「プログラム」を受講完了すると、一定期間認定を得ることができます。

認定したという証明や有効期間を管理し、認定が切れる頃に、再度プログラムを受講させ、認定を更新させるようなトレーニングを提供したい際に使う機能です。※利用にはプログラムの構築が前提条件となります。

▼ダイナミックルール(Dynamic rules)

特定の条件が満たされたときに自動的に処理を行いたいアクションがある場合に用います。

主に、一斉エンロールや一斉通知に使われます。

※条件の一部は組織構造やプログラムなど、Moodle Workplace固有機能の実装が前提になります。

▼カスタムレポート(Custom reports)

Moodle Workplaceの固有機能でしたが、Moodle LMS4.0以降マージされました。

テナント内の様々なデータを集約したレポートデータを作成することができます。

複数コースの完了状況の把握に便利です。

部門のフレームワーク

+ 新しいフレームワーク

部門名	ジョブ数	アクション
+ 株式会社DOG_部門		+ 新しい部門
+ 本社	1 (0)	+ ⚙️
+ 管理部	2 (0)	+ ⚙️
+ 総務課	2 (0)	+ ⚙️
+ 経理課	2 (0)	+ ⚙️
+ 営業部	2 (0)	+ ⚙️

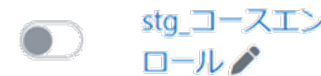
▼プログラム構成・順番にすべてを完了する・0% 完了

stg_管理部基礎・0% 完了

stg_管理部応用・0% 完了

stg_管理部発展・0% 完了

<input type="checkbox"/>	姓/名	割り当てソース	認定ステータス	割り当て時	認定日	有効期限	現在のプログラム	終了日	プログラムのステータス
<input type="checkbox"/>	D上 DOG_管理部 上野詩	手動	開く	25/01/21			DOG_管理部必修	25/04/21	公開中
<input type="checkbox"/>	D井 DOG_管理部 井上一郎	手動	開く	25/01/21			DOG_管理部必修	25/04/21	公開中



ユーザは部門「管理部」に割り当てられています
サブ部門: バックアップ済

コース 'stg_Sample Course' に登録する
ロール: 学習者
グループ: なし

長いコース名	フルネーム	学習者の進捗	完了	評点
DOG_WORD基礎	dog001 株式会社DOG青山愛子	16.7%	No	
DOG_WORD基礎	dog002 株式会社DOG井上一郎	33.3%	No	110.00
DOG_WORD基礎	dog003 株式会社DOG上野詩	16.7%	No	10.00
DOG_WORD基礎	dog008 株式会社DOG工藤邦夫	0.0%	No	

